

製品名: MRP2 (11R9) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe14101**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:1000-1:10000,ICC/IF 1:100-1:200,FC 1:50-1:100
分子量	174kDa

抗原情報

遺伝子名	ABCC2
別名	ABC30; abcC2; CMOAT1; cMRP;
遺伝子 ID	1244.0
SwissProt ID	Q92887
免疫原	ヒト MRP2 の合成ペプチド

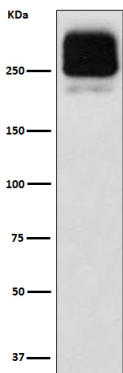
背景

多数の有機アニオンの胆汁排泄を媒介する。細胞内シスプラチントランスポーターとして機能する可能性がある。ATP結合カセット (ABC) ファミリーに属するATP依存性トランスポーターは、ATPに結合して加水分解し、多くの薬物、毒物、内因性化合物を含む様々な基質の細胞膜を介した能動輸送を可能にする。硫酸抱合体、グルクロン酸抱合体、グルタチオン (GSH) 抱合体など、多様な抱合有機アニオンを輸送する。これらの抱合体には、内因性および生体異物基質が含まれる (PubMed:10220572、PubMed:10421658、PubMed:11500505、PubMed:16332456)。モノグルクロン酸抱合ビリルビンおよびビスグルクロン酸抱合ビリルビン分子の胆汁排泄を媒介し、ビリルビン解毒において重要な役割を果たします (PubMed:10421658)。また、 17β -エストラジオール、17-グルコシドウロン酸、ロイコトリエン C4 などのグルクロン酸抱合体の胆汁排泄も媒介します (PubMed:11500505)。タウロリトコール酸硫酸塩などの硫酸化胆汁酸塩を輸送します (PubMed:16332456)。アントラサイクリン、ビンカアルカロイド、メトトレキサートなどの様々な抗がん剤や、プロテアーゼ阻害剤などの HIV 治療薬を輸送します (PubMed:10220572、PubMed:11500505、PubMed:12441801)。シスプラチン、ドキソルビシン、エピルビシン、メトトレキサート、エトポシド、ビンクリスチンなどのいくつかの抗癌剤に対する耐性を付与します (PubMed:10220572、PubMed:11500505)。

研究分野

ABC トランスポーター;

画像データ



HepG2 細胞溶解物中の MRP2 発現のウェスタン プロット解析。